

「原子炉および燃料に関するリスクとその制御に関するオンラインインターンシップ」

(1) 概要

当社では、原子力の未来を支える人材の育成を目的としたインターンシップをオンラインで実施します。福島第一原子力発電所事故の経験を踏まえて、これからの原子力のためには、原子炉および燃料のリスクを正しく知るとともに、それをコントロールしていくという認識を身に付けることは大切なことと考えています。そこで本インターンシップでは以下を実施致します。

- ①原子炉のリスクを評価し、リスク低減策を認識すると共に、プラントシミュレータなどによるオンラインでの疑似体験
- ②燃料のリスクとその対応策の習得

(2) 本インターンシップの特徴

- ①世界最先端の確率論的リスク評価を学習できます。
- ②シミュレータ動画配信などを用いて、プラント設計や安全機能を視覚的に体験します。
- ③ホットラボでのウラン燃料などの放射線測定を動画配信などにより疑似体験します。



最新鋭のプラントシミュレータ



ホットラボ

(3) 日程および方法（日程の詳細は補足資料1参照下さい）

- ①日程：2021年1月25日(月)～1月29日(金)【5日間】
- ②実施方法：オンライン（Web会議ツールを活用して実施します）

(4) 応募方法など

- ①応募方法：下記の日立製作所キャリア教育ページよりご登録下さい。

http://www.hitachi.co.jp/recruit/career_education/index.html

（キャリア教育 マイページ「ログイン」ボタンよりマイページに登録し、マイページ上でテーマ名称「原子炉および燃料に関するリスクとその制御に関するオンラインインターンシップ」を選択して応募して下さい。）

- ②応募期間：2020年11月1日(日)～11月15日(日)
- ③募集人員：約10名（大学3年以上。本インターンシップは日本語で実施します。）
- ④実施元：日立GEニュークリア・エナジー(株)
- ⑤上記以外の詳細に関しては、上記日立製作所インターンシップ募集URLに掲載予定ですので、ご確認ください。
- ⑥本インターンシップはインターンシップとして大学の単位取得可能な場合があります。

（但し、大学によって条件が異なりますので、条件を大学にご確認の上、インターンシップ面談選考時にご相談下さい。）

※本インターンシップは、文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」の補助を受け、東京大学、茨城大学、日本核燃料開発(株)と連携して実施するものです。

【補足資料 1】 インターンシップ日程とカリキュラム

本インターンシップは以下の日程で行います。

日程	カテゴリー	項目	特徴	
1 日目	確率論的リスク評価（PRA*）の講義・実習 *Probabilistic Risk Assessment	1)インターンシップ全体オリエンテーション	当社が英国ABWR設計審査で培った世界最先端のPRAを学習して頂けます。	
		2)BWRの安全設備に関する講義		
		3)PRA＆リスクに関する講義（東京大学 山口彰 教授）		
2 日目		4)PRAの実習		
		5)リスク情報活用の実習		
3 日目	プラントシミュレータによる実習	1)主要系統・設備の実習	シミュレータ動画配信などを用いて、プラント設計や安全機能を視覚的に学習します。	
		2)過渡事象等の実習		
		3)過酷事故の実習		
4 日目	燃料のリスクとその対応策に関する講義・実習	1)燃料とそのリスクに関する講義（東京大学 阿部弘亨 教授）	日本核燃料開発のホットラボを用いて、ウラン燃料などの放射線測定をオンラインで疑似体験します。	
		2)実験施設の説明		
		3)未使用ウラン燃料を用いた実習		
5 日目		4)使用済みウラン燃料を用いた実習		
		5)自然放射性核種検出の実習		
		6)総合討論		

※ 1．受講者はご自分のPCによりオンラインで受講して頂きます。（PCは市販のWeb会議ツールが動作できるレベルのものをご準備ください。カメラおよびマイクも必要です。）
※ 2．インターンシップの項目および日程は変更する場合があります。